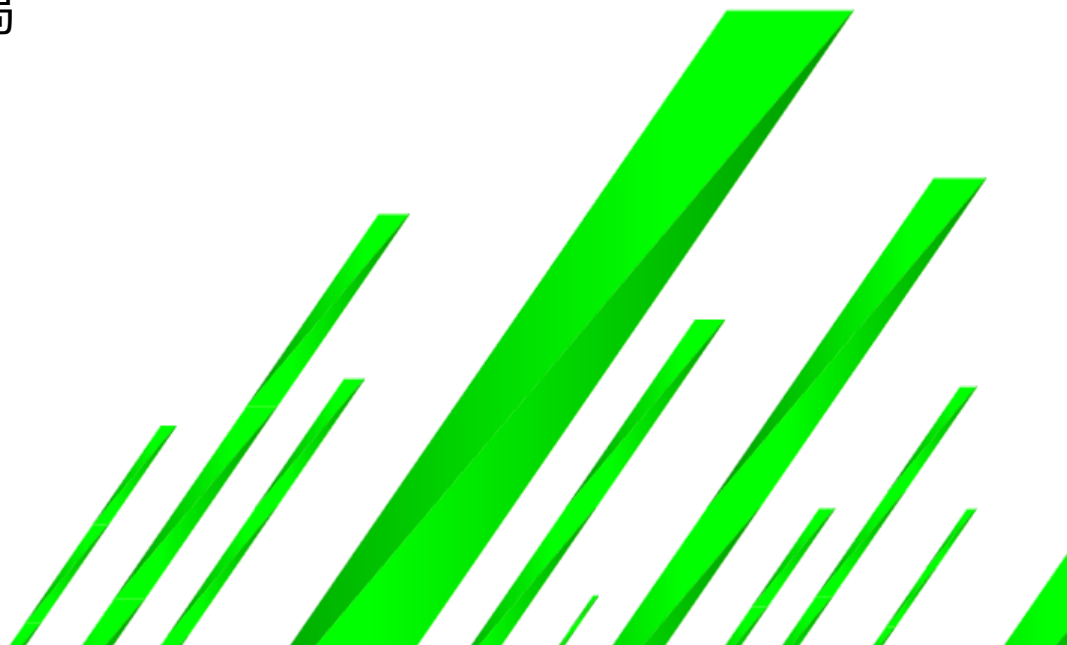


様式記載マニュアル 様式 4： 基準年度排出量等報告書

2023年 7 月 GXリーグ事務局



対象となる様式

- 以下の様式について、その記載方法について解説・補足します。
- 各様式はGXリーグ公式HPに掲載された最新版の使用をお願いいたします。

様式 番号	様式名	提出対象企業 (必須/任意)	複数 種類あり ^{*1}	提出期限
様式 1	参画申込書	対象外	-	-
様式 2	GXリーグ参画企業に求める取組に関する報告書	全参画企業 (必須)	○	2023年9月29日
様式 3	組織境界の設定に関する説明書	全参画企業 (必須)	-	2023年9月29日
様式 4	基準年度排出量等報告書	全参画企業 (必須)	○	2023年9月29日
様式 5	排出量実績報告書	全参画企業 (必須)	○	年度終了後 7 か月以内
様式 6	基準年度排出量等加算・控除申請書	参画企業 (任意)	○	2023年9月29日
様式 7	構造的変化に関する申請書	該当する参画企業 (必須)	-	適時
様式 8	削減目標変更申請書	該当する参画企業 (必須)	-	適時
様式 9	温室効果ガスの回収量の算定方法に関する申請書	該当する参画企業 (必須)	-	適時

^{*1} 参画企業の事業形態や基準年度の設定方法によって複数の種類から選択を行う様式

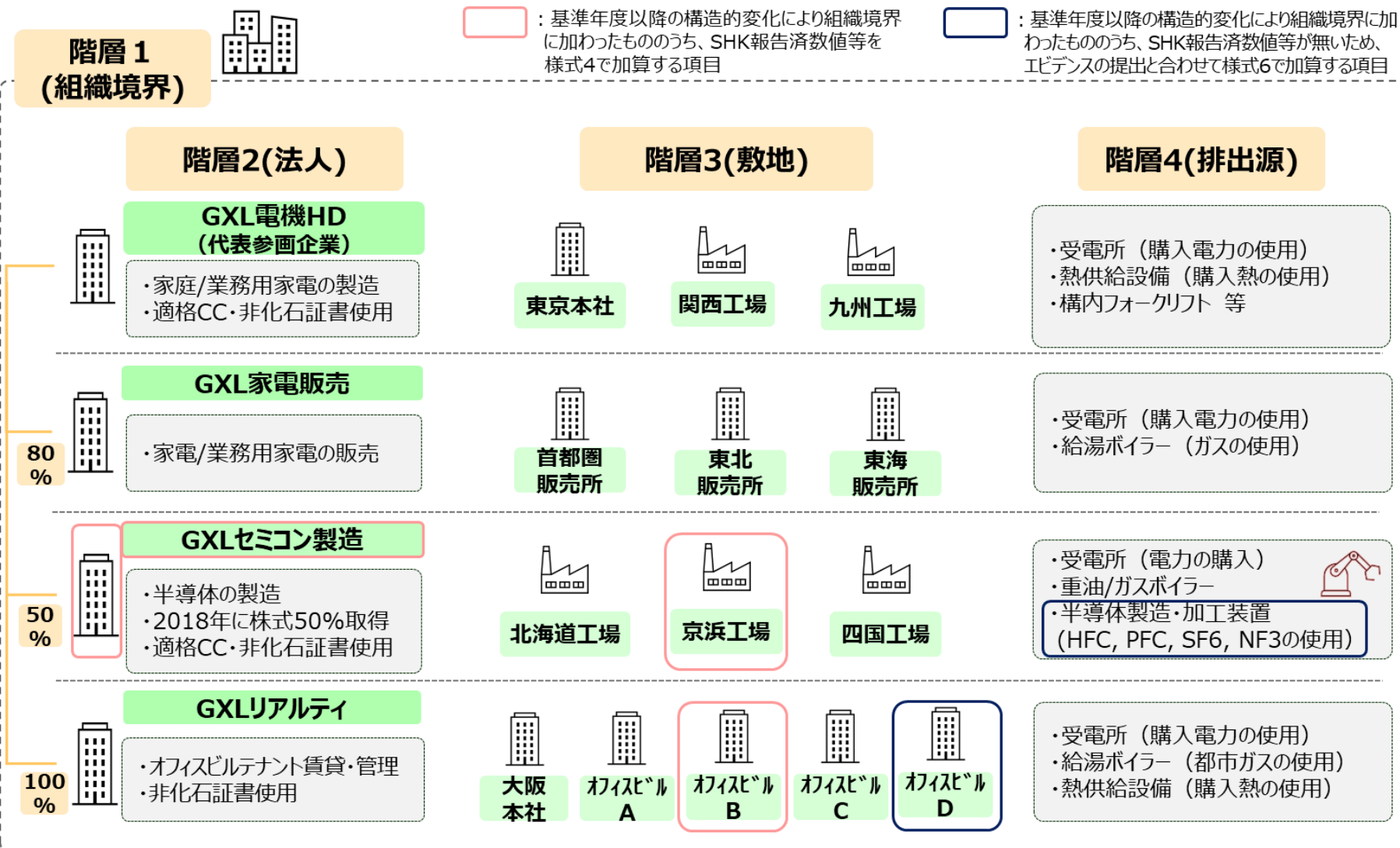
様式 2 : 事業会社向け/金融機関向け から選択

様式 4 : Group G/X, 単年度/複数年度, 法人数に応じて選択

様式 5 : Group G/X, 集計機能付き (敷地境界数10/50/100) から選択

様式 6 : 単年度/複数年度、法人数に応じて選択

【参考】記載例の想定ケース



様式4 | 基準年度排出量等報告書

- Group G/X、設定する基準年度等や組織境界に応じて対応する様式の種類を選択ください。
- Group G企業用・複数年度用（★）については、超過削減枠申請時に提出が必要となる直近排出量の提出にも用いられます。

様式4 基準年度排出量等報告書

Group G企業用

Group G向けの様式：以下6種類

単年度用（10法人用）

… 2013年度を基準年とする場合で組織境界に含める法人が10社以内の場合

単年度用（50法人用）

… 2013年度を基準年とする場合で組織境界に含める法人が50社以内の場合

単年度用（100法人用）

… 2013年度を基準年とする場合で組織境界に含める法人が100社以内の場合

複数年度用（10法人用）★

… 2013年度以外を基準年とする場合で組織境界に含める法人が10社以内の場合

複数年度用（50法人用）★

… 2013年度以外を基準年とする場合で組織境界に含める法人が50社以内の場合

複数年度用（100法人用）★

… 2013年度以外を基準年とする場合で組織境界に含める法人が100社以内の場合

Group X企業用

Group X向けの様式：以下2種類

単年度用

… 2013年度またはそれ以外の年度で単年度での設定を行う場合

複数年度用

… 2013年度以外の年度で複数年度の設定を行う場合

様式4 | 基準年度排出量等報告書

1. Group Gの記載方法

2. Group Xの記載方法

様式4 | 基準年度排出量等報告書 - Group G向け単年の場合 (シート1)

1. 基準年度排出量を申請する場合

様式4 (Sheet1)

基準年度排出量等報告書ー単年

2023年6月14日

GXリーグ事務局 殿

■ 参画企業	企業名:	株式会社GXL電機HD
	法人番号:	1111111111111
■ 算定・報告担当	責任者	サステナ太郎
	部署名	経営企画部
	役職名	課長
	連絡先 (メールアドレス)	gxl-elec-hd@gxl.co.jp
	連絡先 (電話)	090-1111-2222

1. 申請対象となる排出量

基準年度排出量

2. 基準年度に関する情報

(1) 基準年度 2013 年度

3. 基準年度排出量に関する情報

(1) 国内直接排出量	97,457	tCO2e
(2) 国内間接排出量	234,564	tCO2e

- ・様式4の提出時、SHK制度報告書または保証報告書等の証憑の添付が必要です。
- ・シート1が未入力の場合、別シートの選択式入力箇所が動作しません。先にシート1を入力ください。

- ・単年または複数年をご確認下さい。様式の種類によってシートの構成が一部異なります。

- ・法人番号は「法人番号指定通知書」にて国税庁より各法人へ通知されている13桁の番号をご記入ください。

- ・基準年度の算定・報告に関して責任を有する担当者をご記入ください。
(参考)GXリーグ算定・モニタリング・報告ガイドライン (P46)

- ・基準年度排出量/直近排出量を選択ください。
(単年度版は基準年度排出量のみ選択可能)

- ・基準年度を選択ください。
 - ・単年の場合は2013年度以外選択不可
 - ・複数年の場合は年度と対象の3か年を選択

- ・別シートで記入の基準年度排出量の合計値が表示されます。この合計値がGXリーグでの基準年度排出量となりますので、ご確認ください。

様式4 | 基準年度排出量等報告書 - 直近排出量報告の場合（シート1）

2. 直近排出量を申請する場合

様式4 (Sheet1)

基準年度排出量等報告書ー3カ年平均

2023年6月14日

GXリーグ事務局 殿

■参画企業	企業名:	株式会社GXL電機HD
	法人番号:	1111111111111
■算定・報告担当	責任者	サステナ太郎
	部署名	経営企画部
	役職名	課長
	連絡先（メールアドレス）	gxl-elec-hd@gxl.co.jp
	連絡先（電話）	090-1111-2222

1. 申請対象となる排出量

直近排出量

2. 直近排出量の対象期間に関する情報

(1) 基準年度		年度
(2) 対象期間	2019 ~ 2021	年度

3. 直近排出量に関する情報

(1) 国内直接排出量	97,457	tCO2e
(2) 国内間接排出量	234,564	tCO2e

- ・超過削減枠の創出申請時、直近排出量の報告を様式4（複数年度用）を使用して行うことが可能です。
- ・シート1が未入力の場合、別シートの選択式入力箇所が動作しません。先にシート1を入力ください。

- ・直近排出量を選択ください。
 - ・単年度用では選択ができません。複数年度用を利用ください。

- ・（1）基準年度は入力対象外となります。
- ・（2）2019～2021年度または2020～2022年度を選択ください。
（参考）GXリーグ基準年度排出量等算定・報告ガイドライン（P2）

- ・別シートで記入の基準年度排出量の合計値が表示されます。この合計値がGXリーグでの基準年度排出量となりますので、ご確認ください。

様式4 | 基準年度排出量等報告書 - Group G向け単年の場合 (シート2)

(Sheet2) 法人単位での排出量等

参画企業 法人名	株式会社GXL電機HD
参画企業 法人番号	111111111111

企業ID	組織階層2			直接排出量 (tCO2e)		間接排出量 (tCO2e)	
	法人番号	法人名	組織境界取込比率	2013	組織境界取込比率適用後	2013	組織境界取込比率適用後
K00001	111111111111	株式会社GXL電機HD	100%	25,898	25,898	151,923	151,923
K00002	222222222222	株式会社GXL家電販売	80%	6	4	19	15
K00003	333333333333	株式会社GXLセミコン製造	50%	142,757	71,378	163,160	81,580
K00004	444444444444	株式会社GXLリアルティ	100%	177	177	1,046	1,046
K00005				0	0	0	0
K00006				0	0	0	0
K00007				0	0	0	0
K00008				0	0	0	0
K00009				0	0	0	0

- 代表となる参画企業以外の、組織境界に含める法人名、法人番号、取込比率を入力ください (いずれも必須)。
 - 様式3の情報と同じ情報の入力となるようご注意ください。(組織境界取込比率は、第1フェーズの組織境界に適用する比率と同じ率を記載ください。)
 - 組織境界取込比率の考え方は「GX リーグ算定・モニタリング・報告ガイドライン」の第2章 組織境界の識別 2. 組織境界の設定基準(P13)をご参照ください。
 - 第1フェーズ中の組織境界に含める法人の中で、基準年度の排出量が0、または法人が存在しない場合でも、法人情報を記入ください。
- 企業ID：シート4の各シート名と対応します。
※企業IDは、GXリーグ事務局にて集計上便宜的に割り当てたIDとなります。

- シート4で入力した法人毎の排出量が直接・間接排出量毎に自動集計されます。左に入力の組織境界取込比率が反映された組織境界取込比率適用後数値をご確認ください。
※組織境界取込比率適用後数値については、小数点以下切り捨てで自動計算されます。
- 複数年度設定の場合、まずシート1で年度を選択ください。表頭の年度が反映されます。

様式4 | 基準年度排出量等報告書 - Group G向け単年の場合（シート3）

(Sheet 3) 構造的変化の履歴（加算・控除を行うもの）

参画企業 法人名	株式会社GXL電機HD
参画企業 法人番号	111111111111

■主体・客体
 ※主体となる法人は例えば株式を取得した法人や事業譲渡を受けた法人を指す
 ※客体は主体が取得した株式を発行している企業や事業譲渡の対象や移転された排出源を指す

■構造的変化のパターン：
 ※Aパターン~~***~~自社の排出量へ組み込まれる場合で、排出源が自社へ移転する場合
 ※Bパターン~~***~~自社の排出量から除かれる場合で、排出源が他社へ移転する場合
 （参照）GXリーグ基準年度排出量等算定・報告ガイドライン9頁

No.	主体となる法人	客体	構造的変化の パターン	構造的変化の種類	対象階層		効力発生日 (yyyy/mm/dd)
						(その他の場合記入)	
1	株式会社GXL電機HD	株式会社GXLセミコン製造	Aパターン	株式取得		階層2	2017/4/1
2	株式会社GXLリアルティ	株式会社LXG不動産 オフィスビルB	Aパターン	事業の譲受け		階層3	2017/4/1
3	株式会社GXLセミコン製造	株式会社LXG半導体製造 京浜工場	Aパターン	吸収分割		階層3	2018/4/1
4							
5							
6							
7							

基準年度当時のバウンダリーと比較して構造的変化があり、基準年度の排出量データがあることから基準年度に含めたい場合には、対象となる構造的変化の情報を入力ください。

主体・客体

- ・主体：株式等を取得した法人や事業譲渡を受けた法人等を指します。
- ・客体：主体が取得した株式を発行した法人や事業譲渡の対象、移転された排出源を指します。

構造的変化のパターン

- ・Aパターン：自社の排出量へ組み込まれる場合で、排出源が自社へ移転する場合
- ・Bパターン：自社の排出量から除かれる場合で、排出源が他社へ移転する場合
（参照）GXリーグ基準年度排出量等算定・報告ガイドライン(P9)

- ・構造的変化の対象となる組織階層を選択ください。

- ・階層2：法人単位
- ・階層3：工場・事業所単位
- ・階層4：排出源単位

- ・効力発生日（構造的変化が生じた日）を記載ください。

様式4 | 基準年度排出量等報告書 - Group G向け単年の場合 (シート4-1/5)

(Sheet4-1) 階層2別排出量(組織境界取込比率反映前数量)2013年度分

参画企業 法人名	株式会社GXL電機HD
参画企業 法人番号	111111111111
階層2 法人名	株式会社GXL電機HD
階層2 法人番号	111111111111
企業ID	K00001

- 複数のシートがあるため、入力時に対象の階層2 法人名をご確認ください

集計	株式会社GXL電機H	加算	控除	合計
直接	25,898	0	0	25,898
間接	151,923	0	0	151,923
6.5ガス	0	0	0	0

- シート毎の排出量集計値をご確認ください。

加算・控除	
客体の名称:	
加算/控除:	
活用数値の種類	

- 加算・控除を入力 (P14で後述)
- 提出するエビデンス名を選択 (SHK制度報告書等)

		エネルギーの種類	単位	2013年度		加算・控除	
				株式会社GXL電機HD			
				活動量	CO2量 (tCO2e)		活動量
直接排出	燃 料	原油（コンデンセートを除く。）	kl		0		
		原油のうちコンデンセート（NGL）	kl		0		
		揮発油	kl		0		
		ナフサ	kl		0		
		灯油	kl		0		
		軽油	kl		0		
		A重油	kl	7,000	18,967		
		B・C重油	kl		0		
		石油アスファルト	t		0		
		石油コークス	t		0		
		石油ガス	液化石油ガス（LPG）	t	2,300	6,897	
			石油系炭化水素ガス	千m3		0	
		可燃性天然ガス	液化天然ガス（LNG）	t		0	
			その他可燃性天然ガス	千m3		0	
		石炭	原料炭	t		0	
			一般炭	t		0	
			無煙炭	t		0	
		石炭コークス	t		0		
		コールタール	t		0		
		コークス炉ガス	千m3		0		
高炉ガス	千m3		0				
転炉ガス	千m3		0				
その他の燃料	都市ガス	千m3		0			
	推計値	GJ		0			
	ジェット燃料油	kl		0			
	ガソリン	kl	15	34			

<直接排出量>

- 赤色セル部分に燃料種別の活動量を入力ください。
• 例: 重油1,500kl
- 青色セル部分でCO2換算の排出量が自動計算されます。SHK制度に基づく単位発熱量・排出係数のデフォルト値が適用されます。
※小数点以下切り捨ての整数値で自動計算されます。

様式4 | 基準年度排出量等報告書 - Group G向け単年の場合 (シート4-2/5)

		エネルギーの種類	単位	2013年度	
				株式会社GXL電機HD	
				活動量	CO2量 (tCO2e)
直接排出	その他直接排出／燃料 (自由記入) 例：上記に含まれない燃料や、上記SHKなどで活用する係数以外のものでも報告する場合は、記入してください。				
	直接排出合計				25.89

単位発熱量		排出係数	
係数	単位	係数	単位
	GJ/		tCO2/GJ
	GJ/		tCO2/GJ
	GJ/		tCO2/GJ
	GJ/		tCO2/GJ
	GJ/		tCO2/GJ
	GJ/		tCO2/GJ
	GJ/		tCO2/GJ
	GJ/		tCO2/GJ
	GJ/		tCO2/GJ
	GJ/		tCO2/GJ
	GJ/		tCO2/GJ
	GJ/		tCO2/GJ
	GJ/		tCO2/GJ
	GJ/		tCO2/GJ

<直接排出量 - デフォルト値以外使用の場合>

- 直接排出のうち、SHK制度で適用する単位発熱量・係数以外を使用する場合は、こちらの記入欄に燃料種、単位、活動量を入力ください。
 - その際、「エネルギーの種類」欄にはデフォルト値以外の単位発熱量・排出係数を使用することの概要を併せて記載ください。
(例) 一般炭 (原産地の物性を考慮した購入元提供の係数を適用)
- CO2量については、小数点以下切り捨ての整数値で自動計算されます。

- 単位発熱量、排出係数のそれぞれにおいて、適用する数値を入力ください。
- 単位発熱量は単位を選択、排出係数は単位をtCO2/GJもしくはtC/GJから選択ください。tC/GJを選択の場合、44/12の炭素換算が適用されます。

様式4 | 基準年度排出量等報告書 - Group G向け単年の場合 (シート4-3/5)

エネルギーの種類		単位	2013年度	
			株式会社GXL電機HD	
			活動量	CO2量 (tCO2e)
熱				
産業用蒸気		GJ		0
産業用以外の蒸気		GJ		0
温水		GJ	1,500	85
冷水		GJ	1,500	85
小計				170
間接排出	〇〇電力 (株)	千KWh	600	313
	△△電力 (株)	千KWh	150,000	77,400
	□□エナジー (株)	千KWh	120,000	74,040
		千KWh		0
		千KWh		0
		千KWh		0
		千KWh		0
		千KWh		0
		千KWh		0
		千KWh		0
		千KWh		0
		千KWh		0
		千KWh		0
		千KWh		0
	小計			151,753
間接排出合計				151,923

単位発熱量		排出係数	
係数	単位	係数	単位
1	GJ/GJ	0.060	tCO2/GJ
1	GJ/GJ	0.057	tCO2/GJ
1	GJ/GJ	0.057	tCO2/GJ
1	GJ/GJ	0.057	tCO2/GJ
		0.000522	tCO2/kWh
		0.000516	tCO2/kWh
		0.000617	tCO2/kWh
			tCO2/kWh
			tCO2/kWh
			tCO2/kWh
			tCO2/kWh
			tCO2/kWh
			tCO2/kWh
			tCO2/kWh
			tCO2/kWh
			tCO2/kWh
			tCO2/kWh
			tCO2/kWh
			tCO2/kWh
			tCO2/kWh
			tCO2/kWh

<①間接排出量>

- 熱・電気の利用について、活動量を入力ください。
- 電気は契約先の電力会社、電力メニューを選択ください。
 - 電力メニューは一部SHK制度でメニュー別係数の設定がないことから選択できない年度があります。
 - CO2量については小数点以下切り捨ての整数値で自動計算されます。

<②間接排出量 - デフォルト排出係数以外を使用の場合>

- 赤色セル部分に電力会社、電力メニューを記載の上、活動量（千kWh）を入力ください。
※国が公表する① 電気事業者ごとの排出係数以外で、② ①に相当する実測などに基
づく適切な排出係数や、③ ①及び②の係数に代替するものとして環境大臣・経済産
業省大臣が公表する係数（代替値）のみ入力が可能です。

<①間接排出量>

- 電力については、選択した電力会社・メニューに
応じてSHK制度における年度別の調整後排出
係数が適用されます（青色セル）

<②間接排出量 - デフォルト排出係数以外を使用の場合>

- 適用する排出係数（tCO2/kWh）を入力く
ださい（赤色セル）

様式4 | 基準年度排出量等報告書 - Group G向け単年の場合 (シート4-4/5)

SHK報告済み数値利用の場合

				活動量	CO2量 (tCO2e)
直接排出 (参考)	その他ガス	CO2 (非エネルギー)	tCO2e		
		CH4	tCO2e		
		N2O	tCO2e		
		HFCs	tCO2e		9,920
		PFCs	tCO2e		53,703
		SF6	tCO2e		9,400
		NF3	tCO2e		6,118
	合計				79,141

<その他ガス>

- SHK制度報告書におけるCO2換算数値を入力ください。

活動量ベースに記載の場合

				活動量	CO2量 (tCO2e)	
直接排出 (参考)	その他の活動	その他ガス	二酸化炭素	非エネルギー起源	tCO2	
			メタン		tCH4	
			一酸化二窒素		tN2O	
			ハイドロフルオロカーボン	トリフルオロメタン	tHFC-23	
				ジフルオロメタン	tHFC-32	
				フルオロメタン	tHFC-41	
				1・1・1・2・2・ペンタフルオロエタン	tHFC-125	
				1・1・2・2・テトラフルオロエタン	tHFC-134	
				1・1・1・2・2・テトラフルオロエタン	tHFC-134a	
				1・1・2・トリフルオロエタン	tHFC-143	
				1・1・1・トリフルオロエタン	tHFC-143a	
				1・2・ジフルオロエタン	tHFC-152	
				1・1・ジフルオロエタン	tHFC-152a	
				フルオロエタン	tHFC-161	
				1・1・1・2・3・3・3・ヘプタフルオロプロパン	tHFC-227ea	
				1・1・1・3・3・3・ヘキサフルオロプロパン	tHFC-236fa	
				1・1・1・2・3・3・ヘキサフルオロプロパン	tHFC-236ea	
				1・1・1・2・2・3・ヘキサフルオロプロパン	tHFC-236cb	
				1・1・2・2・3・ペンタフルオロプロパン	tHFC-245ca	
				1・1・1・3・3・ペンタフルオロプロパン	tHFC-245fa	
				1・1・1・3・3・ペンタフルオロブタン	tHFC-365mfc	
				1・1・1・2・3・4・4・5・5・5・デカフルオロペンタン	tHFC-43-10mee	
			パーフルオロカーボン	パーフルオロメタン	tPFC-14	
				パーフルオロエタン	tPFC-116	
				パーフルオロプロパン	tPFC-218	
				パーフルオロシクロプロパン	tPFCycloPropane	
				パーフルオロブタン	tPFC-31-10	
				パーフルオロシクロブタン	tPFC-c318	
				パーフルオロペンタン	tPFC-41-12	
				パーフルオロヘキサン	tPFC-51-14	
				パーフルオロデカリン	tPFC-91-18	
			六ふっ化硫黄		tSF6	
			三ふっ化窒素		tNF3	
合計						

<その他ガス - 活動種別でその他ガス種別に報告をする場合>

- CO2換算前の各ガス種単位での排出量を活動量として入力ください。
- SHK制度の定める地球温暖化係数でCO2換算がなされます。
 - 地球温暖化係数は2023年度版を適用するものとしていますが、その他年度のものを利用する場合はAS-AT列に係数を入力ください（赤色セル）
- ※ CO2量については小数点以下切り捨ての整数値で自動計算されます。

AQ	AR	AS	AT
地球温暖化係数 排出係数 (2023年度版)		地球温暖化係数排出係数 (その他年度のものを利用する場合記入)	
1	tCO2/tCO2		tCO2/tCO2
28	tCO2/tCH4		tCO2/tCH4
265	tCO2/tN2O		tCO2/tN2O
12,400	tCO2/tHFC-23		tCO2/tHFC-23
677	tCO2/tHFC-32		tCO2/tHFC-32
116	tCO2/tHFC-41		tCO2/tHFC-41
3,170	tCO2/tHFC-125		tCO2/tHFC-125

様式4 | 基準年度排出量等報告書 - Group G向け単年の場合 (シート4-5/5)

- シート3で入力した構造的変化の履歴に基づき、対象となる階層2-4の加算・控除情報を入力ください。
 - 客体の名称：シート3の客体情報
 - 加算/控除：該当する方を選択
 - ※加算・控除いずれも正の値で入力ください。控除は集計時に控除されます。
 - 活用数値の種類：SHK制度報告値またはGHGプロトコルなど第三者検証済数値の選択
 - ※上記いずれの場合でも証憑の提出が必要です。
 - ※上記の2ケースいずれにも該当しない場合、様式4での報告はできません。様式6の使用を検討ください。

	エネルギーの種類	単位	2013年度	
			株式会社GXLセミコン製造	
			活動量	CO2量 (tCO2e)
	原油（コンデンセートを除く。）	kl		0
	原油のうちコンデンセート（NGL）	kl		0
	揮発油	kl		0
	ナフサ	kl		0
	灯油	kl		0
	軽油	kl		0
	A重油	kl	1,700	4,606
	B・C重油	kl		0
	石油アスファルト	t		0
	石油コークス	t		0
	石油ガス			
	液化石油ガス（LPG）	t	3,000	8,996

加算・控除		
客体の名称：	京浜工場	
加算／控除：	加算	
活用数値の種類	SHK報告値	

加算・控除			
京浜工場			
活動量	CO2量 (tCO2e)	活動量	CO2量 (tCO2e)
	0		0
	0		0
	0		0
	0		0
	0		0
	0		0
1,000	2,709		0
	0		0
	0		0
	0		0
1,500	4,498		0

- 加算・控除対象についても、直接排出・間接排出・直接排出（その他ガス）について、同様の手順で入力ください。
 - ※ CO2量については小数点以下切り捨ての整数値で自動計算されます。

様式4 | 基準年度排出量等報告書

1. Group Gの記載方法
2. Group Xの記載方法

様式4 | 基準年度排出量等報告書 - Group X向け単年の場合（シート1）

様式4 (Sheet1)

基準年度排出量等報告書－単年

2023年6月14日

GXリーグ事務局 殿

■ 参画企業	企業名:	株式会社GXL電機HD
	法人番号:	1111111111111
■ 算定・報告担当	責任者	サステナ太郎
	部署名	経営企画部
	役職名	課長
	連絡先（メールアドレス）	gxl-elec-hd@gxl.co.jp
	連絡先（電話）	090-1111-2222

1. 申請対象となる排出量

基準年度排出量

2. 基準年度に関する情報

(1) 基準年度 2013 年度

3. 基準年度排出量に関する情報

(1) 国内直接排出量 97,457 tCO₂e(2) 国内間接排出量 234,564 tCO₂e

• Group Xは、様式4の提出時、SHK制度報告書または保証報告書等の証憑の添付は不要です。

• 単年または複数年をご確認下さい。様式の種類によってシートの構成が一部異なります。

• 法人番号は「法人番号指定通知書」にて国税庁より各法人へ通知されている13桁の番号をご記入ください。

• 算定報告書の作成やデータの管理・保管等の実施に責任を持ちます。
(参考)GXリーグ算定・モニタリング・報告ガイドライン(P46)

• Group Xは基準年度排出量のみが報告対象となります。
(超過削減枠を生み出すGroup Gの場合、直近排出量申請にも用いられます。)

• 基準年度を選択ください。
 • 単年の場合は基準年度を選択
 • 複数年の場合は加えて年度と対象の3か年を選択

• 別シートで記入の基準年度排出量の合計値が表示されます。この合計値がGXリーグでの基準年度排出量となりますので、ご確認ください。

様式4 | 基準年度排出量等報告書 - Group X向け単年の場合（シート2）

(Sheet2) 法人単位での排出量等

参画企業 法人名	株式会社GXL電気HD
参画企業 法人番号	111111111111

企業ID	組織階層2			直接排出量 (tCO ₂ e)		間接排出量 (tCO ₂ e)	
	法人番号	法人名	組織境界取込比率	2013	組織境界取込比率適用後	2013	組織境界取込比率適用後
K00001	111111111111	株式会社GXL電気HD	100%	25,898	25,898	151,923	151,923
K00002	222222222222	株式会社GXL家電販売	80%	6	4	19	15
K00003	333333333333	株式会社GXLセミコン製造	50%	142,757	71,378	163,160	81,580
K00004	444444444444	株式会社GXLリアルティ	100%	177	177	1,046	1,046
K00005					0		0
K00006					0		0
K00007					0		0
K00008					0		0
K00009					0		0

- 代表となる参画企業以外の、組織境界に含める法人名、法人番号、取込比率を入力ください（いずれも必須）。
 - 様式3の情報と同じ情報の入力となるようご注意ください。
 - 組織境界取込比率の考え方は「GXリーグ算定・モニタリング・報告ガイドライン」の第2章 組織境界の識別 2. 組織境界の設定基準(P13) をご参照ください。
- 企業ID：GXリーグ事務局にて集計上便宜的に割り当てたIDとなります。

- 法人毎の排出量をこちらに直接入力します。
(シート3,4はありません。)
※組織境界取込比率適用後数値については、小数点以下切り捨てで自動計算されます。